

（報 告）

ア 令和5年度放課後児童会運営委託事業者の特定について

※教育総務課学校・地域連携担当課長から資料に基づき説明

（安田委員）2つの選定された事業者は、浜松に出張所のような場所はあるのか。あるならば、書類に本社の所在地後に続いて浜松市の場所も明記されているほうがいい。

（学校・地域連携担当課長）出張所、営業所になると思うが、2者とも浜松市内に設置すると聞いている。

（神谷委員）選定された企業が地元でないことが悔しい。かつこの現状に危惧している。また、会社を運営するという視点で、マニュアルがあったとしても、事業の規模の数が多いので、大変な運営になると思われる。ビジネスとして新しく参入するのは、ノウハウや職員の待遇の整備等からも難しいのではないか。また放課後児童会の分野以外でも、東京都等の都会から地方である浜松に事業者が施設管理等の仕事を取りに来ているという流れがあると耳にした。

（学校・地域連携担当課長）公募のため、地元企業に限らずだれでも応募可能である。選定された会社は、ノウハウも実績もある。

（田中委員）委託ということになると、人材確保以外で、おやつ等細かい部分においての内容の違いを会社側は想定しているのか。

（学校・地域連携担当課長）基本的には、これまでの団体のやり方を継承するが、細かいところでは違いが出てくると思う。

イ 令和4年度全国学力・学習状況調査「浜松市の結果（概要）」について

※指導課長から資料に基づき説明

（黒柳委員）中学生が、家庭において自分で計画を立てて勉強するという習慣が身についているかどうかという数値は、学校や塾の課題等の理由で、低いのかと思う。このような習慣が身につくように、手引き等で周知してほしい。

（指導課長）コロナで一度数値が伸びたが、落ち着いたらまた数値が下がった。やはり課題として捉えていく。

ウ 令和4年度全国・東海中学校総合体育大会結果について

※指導課長から資料に基づき説明

(安田委員) 称揚はあったのか。私立中学に加え、公立の与進中のバスケットボール全国3位は快挙である。私立の活躍は、テレビ・ニュースでみた。

(教育長) 市立の学校だけでなく、私立の学校も直接会って称揚した。また、全国大会等の出場者に対する激励金は、私立中学においても取り扱っている。

エ 令和4年度浜松市立高等学校の部活動の状況について

※市立高等学校長から資料に基づき説明

(安田委員) この生徒たちも称揚したか。

(教育長) 小中学校のみ称揚した。高校生は市長が行う。

(田中委員) 澤田さんはよく頑張っている。実際、走っている姿を見たことがある。小中学校で実績を残された子が、浜松で活躍できるようご尽力いただきたい。

オ 美術館の事業について

※美術館長から資料に基づき説明

(神谷委員) 浜松市美術館の「企画展名刀泰平を切り開く 戦国から江戸へ」は、浜松城にきた人をうまく美術館のほうへ誘導できるとよいと思う。浜松城の入り口にポスターが貼られているが、そのポスターを見て美術館に行くという人が少ないように思う。誘導方法を考えてほしい。

(美術館長) この企画は、4年前から動いており、大河ドラマとは全く別で動いている。企画と大河ドラマの集客方法について、何かしら考えていきたい。

(鈴木委員) 統計の観点から、市外や県外からの集客の見込みはあるのか？うまく宣伝して、集客が見込めるのではないか。

(美術館長) この企画は、アメリカで活躍しているボストン美術館の刀剣の先生についてもらっている。ご指導いただく中で、先生に全国的に注目を集めるのではと言っている。

(田中委員) ギャラリートーク等の映像はWEBにアップできないのか。著作権などの兼ね

合いで難しいのか。アナウンス等が浜松市のホームページに載っていれば、視覚的な楽しさが伝わるのではないか。

(美術館長) 映像の配信は、難しいものもあれば難しくないものもある。美術館の2階のものについては、一切できない。1階については、浜松市美術館として持っている映像は、できるものもある。考えていないわけではないので、相談してできればと思っている。できる限り皆さんに楽しんでもらえるよう努力していく。